

科目名	企画科目（災害心理学）			学期	後期	単位数	2	担当者	森崎雅好
副題	-								
ナンバリング	N2-10-263	授業方法	講義	実務経験の有無			有	関連DP	1,2,4
授業の目的と概要									
PTSD、複雑性悲嘆などの基本的概念を理解したうえで、災害後の時期によって変化していく多様なニーズに応えるための心理学的、及び、その周辺領域の知識を修得する。									
授業の到達目標									
災害時における心理的支援に学んだ知見を活用する態度を理解している。									
授業計画									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時支援における我が国の現状と課題 2. 災害教育 3. 心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）① 4. 心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）② 5. 心のケア（サイコロジカル・ファースト・エイドについて）③ 6. 復興支援学とは 7. 復興とコミュニティ 8. 復興と災害障害者 9. 復興支援とボランティア 10. 復興支援とホスピス活動 11. 復興支援とナチュラル・サポーター 12. 復興支援とジェンダー 13. 復興時の分断と格差への対応 14. 復興支援と宗教 15. 講義内容の総括と振り返り 									
準備学習（予習・復習）・時間									
事前学習として、配付資料に目を通し、自身の疑問点、意見などを整理しておくこと（90分）、									
事後学習として授業で学んだ内容に関して復習をし、疑問点などが解消しているか確認をしておくこと（90分）									
テキスト									
講師作成の講義プリントを配布する。									
参考書・参考資料等									
金 吉晴『心的トラウマの理解とケア 第2版』じほう、2006年。									
学生に対する評価									
レポート評価（100%）									
ルーブリック（目標に準拠した評価）									
(C) 災害時に起こりうる心理的事象を理解している。									
(B) 災害時に起こりうる心理的事象を理解し、必要な心理的支援について考えることができる。									
(A) 災害時における心理的支援に関する知見を活用する態度を理解している。									
(S) 災害時における心理的支援に関する知見を活用する態度を理解している、かつ、起こりうる心理的事象について説明することができる。									
課題に対するフィードバックの方法									
質問や意見については、毎回の授業内でフィードバックを行う。課題レポートには講師からのコメントを付し、返却を行う。									
その他									
実務経験のある教員が行う授業内容（どのような経験を持ち、どのような授業内容か）									
臨床心理士・公認心理師・スピリチュアルケア師（指導）・認定臨床宗教師として実務経験を持つ専任教員により、災害時の現場の活動から明らかになった課題とPTSDや複雑性悲嘆などの基本的概念を講義し、災害後の時期によって変化してゆく多様なニーズに応えるための心理学的及びその周辺領域の知識の活かし方を身につけさせる。									